



厚生労働省北海道労働局発表
平成29年3月16日

【担当】

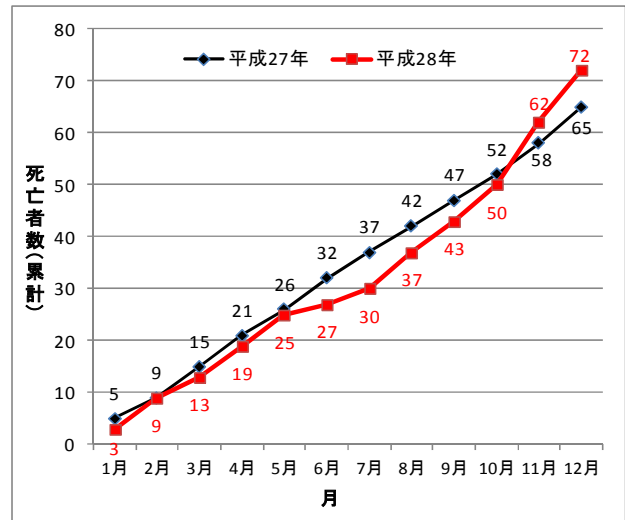
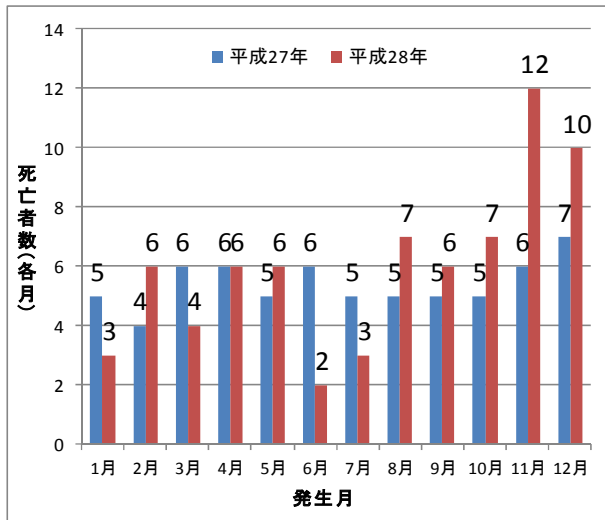
北海道労働局労働基準部安全課
課長 工藤 英司
安全専門官 渡邊 哲也
電話：011-709-2311（内3557）
FAX：011-756-0056

死亡労働災害は前年同期比7人増加
死傷労働災害は前年同期比0.6%増加

— 平成28年の北海道内の労働災害発生状況（平成29年2月末現在速報値） —

1 労働災害による死亡者数（1月～12月）

平成28年の道内の労働災害による死亡者数は、平成29年2月末現在速報値で72人と、前年と比べ7人の増加となっています。



（1）業種別の状況【資料1、2】

業種別に見ると、「建設業」が28人（全体の38.9%、前年同期比3人増）、
「陸上貨物運送事業」が12人（全体の16.7%、前年同期比1人増）、
「製造業」が7人（全体の9.7%、前年同期比同数）、
「林業」が5人（全体の6.9%、前年同期比1人増）、
「農業・畜産業」が5人（全体の6.9%、前年同期比4人増）となっています。

（2）事故の型別の状況【資料3】

災害を事故の型別で見ると、「交通事故（道路）」が20人（全体の27.8%）、
「墜落・転落」が16人（全体の22.2%）、
「激突され」が12人（全体の16.7%）、
「はさまれ・巻き込まれ」が8人（全体の11.1%）、
「崩壊・倒壊」及び「おぼれ」がそれぞれ4人（全体の5.6%）、
「転倒」が3人（全体の4.2%）となっています。

2 労働災害による死傷者数（1月～12月）

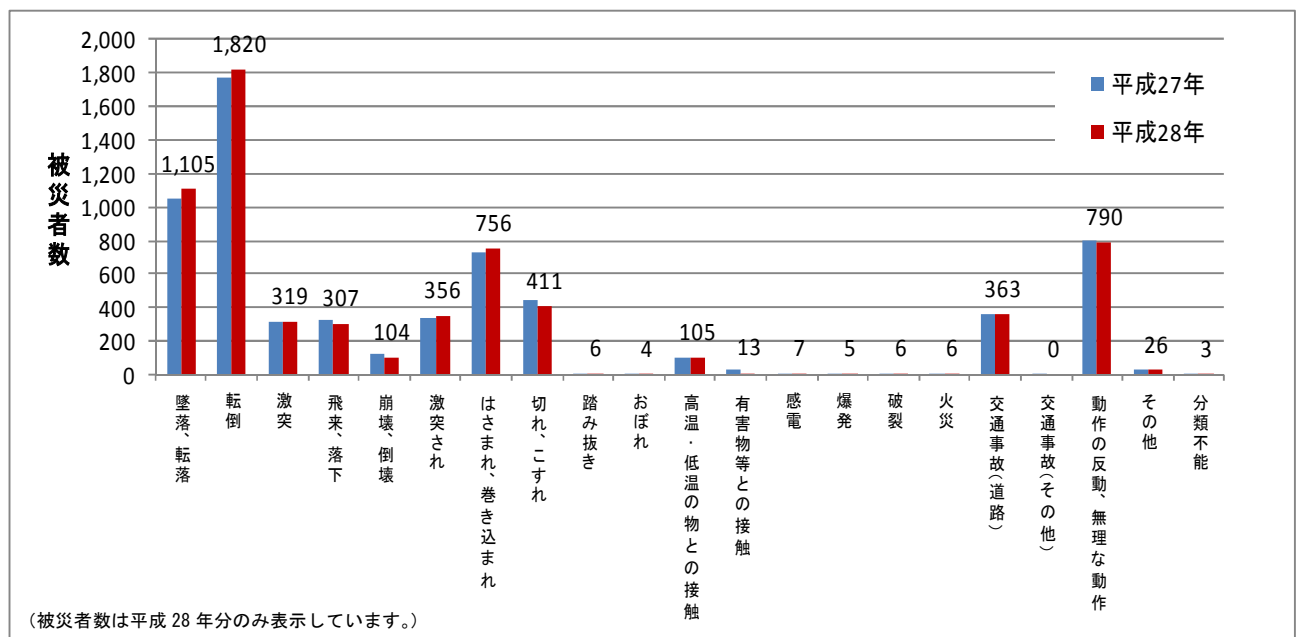
平成28年の道内の労働災害による休業4日以上¹の死傷者数は、平成29年2月末現在速報値で6,512人と、前年同期比39人増（0.6%増）となっています。

（1）業種別の状況【資料4】

業種別に見ると、「製造業」が1,218人（全体の18.7%、前年同期比44人増）と最も多く、次いで「商業」が942人（全体の14.5%、前年同期比24人増）、「建設業」が894人（全体の13.7%、前年同期比86人減）、「陸上貨物運送事業」（道路貨物運送業及び陸上貨物取扱業）が767人（全体の11.8%、前年同期比25人増）の順となっています。

（2）事故の型別の状況【資料5】

災害を事故の型別で見ると、「転倒」が1,820人（全体の27.9%）と最も多く、次いで「墜落、転落」が1,105人（全体の17.0%）、「動作の反動、無理な動作」が790人（全体の12.1%）、「はさまれ、巻き込まれ」が756人（全体の11.6%）、「切れ、こすれ」が411人（全体の6.3%）、「交通事故（道路）」が363人（全体の5.6%）、「激突され」が356人（全体の5.5%）の順となっています。



3 北海道労働局の対応

同日発表の「平成29年の北海道内の労働災害発生状況（平成29年2月末現在速報値）」の、「3 北海道労働局の対応」欄をご覧ください。

※ 平成28年の労働災害発生数は、事業場から平成29年3月末までにあった報告（労働者死傷病報告）をもって確定します。

【添付資料】

- 1 平成28年における死亡災害発生状況[速報]
- 2 平成28年における死亡災害発生状況（その他の事業の内訳）[速報]
- 3 平成28年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
- 4 業種別労働災害発生状況[速報]
- 5 平成28年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況
- 6 署別・業種別災害発生状況
- 7 死亡労働災害の概要（前月把握分）